

令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立瓜破東

小学校

児童数

243

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.65	18.55	34.65	31.40	40.70	9.46	126.89	19.11	48.28
大阪市	16.11	18.48	32.94	37.73	42.24	9.50	147.79	20.23	50.79
全国	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
女子	16.10	15.81	36.48	30.85	35.29	9.49	112.76	13.55	48.59
大阪市	16.00	17.64	37.71	36.25	34.55	9.70	140.60	12.84	52.81
全国	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64

結果の概要

体力合計点を見ると男子は市より2ポイント、全国より4ポイント低い。女子は市より4ポイント、全国より6ポイント低く。男女とも体力は低いと言える。「運動やスポーツをすることは好きですか」では男子は市・全国ともに肯定的回答は低く、逆に女子は両方とも高い。運動が楽しいと感じる理由として男子は「体を動かすのが好き」「すっきりした気分になる」女子は「仲間と一緒にできる」「すっきりした気分になる」が多い。嫌いな理由としては男子は「うまくできない」「むずかしい」「汗をかくのがいや」女子は「けがが怖い」「汗をかくのがいや」である。一週間当たりの総合運動時間については男子630分、女子629分とともに市・全国より多い。測定項目でみると市及び全国を超えているのは男子は「握力」「長座体前屈」女子は「50m走」「ソフトボール投げ」である。極端に低い項目は男女とも「反復横とび」「立ち幅とび」である。

体格については、男子・女子ともに、高度肥満・高度やせ・やせの児童は存在せず、男子で肥満にあたる児童は10%で、全国の割合13.1%よりも3ポイント低い。女子で肥満にあたる児童は4.8%で、全国の8.9%より5ポイント低い。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では年間を通して運動にかかわる様々な取り組みを進めている。縄跳び週間、かけ足週間、ミニマラソン大会等児童が目標をもって運動に取り組むよう工夫している。ここ数年はコロナ禍の中、休み時間に運動場に全児童が出て体を動かすということが難しくなってきた。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出る中、人数制限せざるを得ない状況になった。休み時間ごとに出る学年を制限して児童の運動習慣が途絶えないよう工夫した。制限のかかる中でも本校児童は積極的に運動場に出て遊んでいる。しかし、ドッジボールや鬼ごっこなど遊びの内容はどの学年も同じである。体力テストの結果男女とも瞬発力を要する運動が苦手であることが分かった。今後コロナ禍の中どれほど運動を保証できるかわからないが、これまで本校で取り組んできたことは継続して押し進める。また、運動好きの児童を育てるため次の取り組みを進める。準備運動の工夫（学習内容に応じた準備運動）、児童の挑戦意欲を伸ばす場の設定、継続意欲を高める学習カードの工夫等。そのほか、休み時間の遊びが固定化されないよういろいろな遊びを紹介し児童の遊びの幅を広げていきたい。